



About QGIS 3.40

QGIS Project

2025 年 06 月 01 日

目次

第 1 章	はじめに	3
1.1	QGIS 3.40 の新機能	4
第 2 章	序文	5
第 3 章	Conventions	7
3.1	GUI 記述ルール	7
3.2	テキストやキーボードの記述ルール	8
3.3	プラットフォーム固有の指示	8
第 4 章	機能	9
4.1	データの閲覧	9
4.2	データの検索と地図の作成	10
4.3	データの作成、編集、管理とエクスポート	10
4.4	データの解析	11
4.5	インターネットでの地図の公開	11
4.6	プラグインによる QGIS 機能の拡張	11
4.6.1	コアプラグイン	11
4.6.2	外部 Python プラグイン	12
4.7	Python コンソール	12
4.8	既知の問題	12
4.8.1	ファイル数の制限	12
第 5 章	ヘルプとサポート	15
5.1	メーリングリスト	15
5.1.1	QGIS ユーザー	15
5.1.2	QGIS 開発者	15
5.1.3	QGIS コミュニティチーム	15
5.1.4	QGIS 翻訳者	16
5.1.5	QGIS プロジェクト運営委員会 (PSC)	16
5.1.6	QGIS ユーザーグループ	16
5.2	Matrix / IRC	16
5.3	商用サポート	17
5.4	バグトラッカー	17
5.5	Blog	17
5.6	プラグイン	17
5.7	Wiki	17
第 6 章	協力者	19
6.1	作者	19
6.2	翻訳者	20

6.3	翻訳に関する統計	22
第 7 章	Complying with Licenses	25
7.1	付録 A: GNU 一般公衆ライセンス (General Public License)	25
7.2	付録 B: GNU フリー文書利用許諾契約書	29

第1章 はじめに

Welcome to the documentation of the geographical information system (GIS) software QGIS. QGIS is subject to the GNU General Public License version 2, or any later version. More information is available on the [QGIS website](https://www.qgis.org).

このドキュメントの内容は、執筆者と編集者の知識の及ぶ限りの最善を尽くして執筆され、検証されています。しかし、そうではあってもやはり誤りがある可能性があります。

従って、執筆者、編集者および出版者は、このドキュメントの間違いとそれが引き起こしうる結果について、いかなる責任も負わないものとします。間違いと思われるものを見つけたときには、ご報告ください。

This document has been typeset with reStructuredText. It is available as reST source code on [github](https://github.com), and online as HTML and PDF via <https://www.qgis.org/resources/hub/#documentation>. Translated versions of this document can be browsed and downloaded via the documentation area of the QGIS project as well.

For more information about contributing to this document and about translation, please read QGIS-documentation-guidelines.

ドキュメント内のリンクについて

このドキュメントには内部リンクと外部リンクが含まれています。内部リンクをクリックした場合はこのドキュメント内部を移動しますが、外部リンクをクリックした場合にはそのインターネットアドレスを開きます。

ドキュメントの執筆者と編集者

このドキュメントの執筆、レビュー、翻訳に貢献してきた人々のリストは、[協力者](#) で見るすることができます。

Copyright (c) 2004 - 2025 QGIS Development Team

Internet: <https://www.qgis.org>

このドキュメントのライセンス

GNU Free Documentation License V1.3 またはフリーソフトウェア財団によって発行されたそれ以降のバージョンの規約に基づき、このドキュメントの複製・頒布・および/または改変が許可されています。ドキュメントに変更不可な部分はなく、また表紙・背表紙のテキストについても同様です。ライセンスのコピーは、[付録 B: GNU フリー文書利用許諾契約書](#) のセクションに収録されています。

1.1 QGIS 3.40 の新機能

This release of QGIS includes hundreds of bug fixes and many new features and enhancements, compared to QGIS 3.34. For a list of new features, visit the [visual changelogs](#).

我々は、以前のリリースバージョンよりも、この最新バージョンを使うことをお勧めします。

第2章 序文

地理情報システム (GIS) のすばらしい世界へようこそ!

QGIS はオープンソースの地理情報システムです。プロジェクトは 2002 年 5 月に誕生し、同年 6 月に SourceForge 上でプロジェクトとして設立されました。私たちは、(従来は高価なプロプライエタリソフトウェアであった) GIS ソフトウェアを、パーソナルコンピューターにアクセスできる人なら誰でも利用できるようにするために努力してきました。

QGIS は現在、ほとんどの Unix プラットフォーム、Windows、macOS 上で動作します。QGIS は Qt ツールキット (<https://www.qt.io>) と C++ を使用して開発されています。このため、QGIS の動作は軽快で、使いやすいグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) を備えています。また、QGIS を現場に持ち出すことを可能にする、独自に作成されたアプリケーションもあります。これらのアプリケーションは Android や iOS 上で動作します。

QGIS はユーザーフレンドリーな GIS になることを目指し、広く使われる機能を提供しています。このプロジェクトの最初の目的は、GIS データのビューアを提供することでした。QGIS は進化を続け、今では日々の GIS データの閲覧、データの取得、高度な GIS 分析、洗練された地図や地図帳、レポートによるプレゼンテーションに使われるようになっていきます。QGIS は豊富なラスタフォーマットとベクタフォーマットをサポートするとともに、プラグインアーキテクチャを利用することにより、新しいフォーマットへのサポートも簡単に追加することができるようになっています。

QGIS は GNU General Public License (GPL) の下でリリースされています。QGIS がこのライセンスの下で開発されていることは、ソースコードを調べてこれに変更を加えることができることを意味し、ユーザーに対しては、いつでも無料で変更が自由に可能な GIS プログラムにアクセスできることを保証します。QGIS を入手する際にライセンスの完全なコピーも同時に受け取っているはずですが、このドキュメントの [付録 A: GNU 一般公衆ライセンス \(General Public License\)](#) のセクションから入手することもできます。

Tip: 最新版のドキュメントについて

このドキュメントの最新版は、QGIS ウェブサイトのドキュメントエリア <https://www.qgis.org/resources/hub/#documentation> でいつでも確認することができます。

第3章 Conventions

このセクションでは、このマニュアルを通して使われている、一貫した記述ルールについて説明します。

3.1 GUI 記述ルール

グラフィカルユーザインタフェース (GUI) の記述スタイルは、GUI の見た目に似せるように意図されています。このスタイルは一般的にツールチップが表示されていない状態を反映しています。このためユーザは GUI の外観をざっと眺めるだけで、マニュアルの指示と同じものを見つけることができます。

- メニューのオプション： レイヤ ラスタレイヤの追加 や 設定 ツールバー デジタル化
- ツール：  ラスタレイヤの追加
- ボタン： デフォルトとして保存
- ダイアログボックスの見出し： レイヤプロパティ
- タブ： 一般情報
- チェックボックス  描画
- ラジオボタン：  *Postgis SRID*  *EPSG ID*
- 数値を選択： 
- 文字を選択： 
- ファイルの一覧から選択： ...
- 色の選択： 
- スライダー： 
- テキストの入力： Display name 

影がついているものは、クリック可能な GUI コンポーネントであることを表しています。

3.2 テキストやキーボードの記述ルール

このマニュアルでは、クラスやメソッドなど異なるエンティティを識別するために、テキストやキーボードショートカット、コーディングに関連するスタイルも使われています。これらのスタイルは QGIS の実際のテキストやコードの外観には一切対応していません。

- ハイパーリンク: <https://qgis.org>
- キーの組み合わせ: Ctrl+B を押す : これは Ctrl キーを押したまま、B キーを押すことを意味します。
- ファイル名: lakes.shp
- クラス名: **NewLayer**
- メソッド: *classFactory*
- サーバー: *myhost.de*
- ユーザー入力テキスト: `qgis --help`

プログラムのコードは固定幅フォントで表示されます。

```
PROJCS["NAD_1927_Albers",
  GEOGCS["GCS_North_American_1927",
```

3.3 プラットフォーム固有の指示

GUIでのひとつづきの操作で、文字も少ない場合は、インラインで（行内で）フォーマットされます。たとえば:  ファイル  QGIS 終了して QGIS を閉じる をクリック これは「Linux、Unix および Windows プラットフォーム上では最初に [ファイル] メニューをクリックしてそれから [終了] する」こと、一方「macOS プラットフォーム上では最初に [QGIS] メニューをクリックしてそれから [終了] する」ことを示しています。

文字が多くなる場合はリストとしてフォーマットされることもあります。

-  Linux・Unix ではこうします
-  Windows ではこうします
-  macOS ではこうします

または、段落としてフォーマットされることもあります。

  これは Linux・Unix・macOS プラットフォーム向けの解説です。文章中の解説手順に基づいて作業してください。

 これは Windows プラットフォーム向けの解説です。文章中の解説手順に基づいて作業してください。

ユーザーガイド中のスクリーンショットはいろいろなプラットフォームで作成されています。

第4章 機能

QGIS はコア機能とプラグインにより豊富な GIS 機能を提供しています。ロケータバーが機能やデータセットやその他の検索を容易にしています。

主要機能とプラグインが構成する 6 つの総合的なカテゴリについて、以下に簡単にまとめます。また付属の Python コンソールについても簡単に案内します。

4.1 データの閲覧

様々なフォーマットと投影法による平面もしくは 3 D のベクタデータおよびラスタデータを、内部フォーマットや共通フォーマットへ変換することなく、組み合わせて閲覧することができます。サポートされているフォーマットは以下のものです。

- PostGIS や SpatiaLite、MS SQL Spatial を使用した空間属性をもつテーブルやビュー、Oracle Spatial、インストールされた OGR ライブラリでサポートされているベクタフォーマット、具体的には GeoPackage、ESRI Shapefile、MapInfo、SDTS、GML、などその他多数。詳しくは `label_workingvector` のセクションを参照してください。
- インストールされた GDAL (Geospatial Data Abstraction Library) でサポートされているラスタフォーマットと画像フォーマット、具体的には GeoTIFF、ERDAS IMG、ArcInfo ASCII GRID、JPEG、PNG、などその他多数。詳しくは `working_with_raster` のセクションを参照してください。
- メッシュデータ (TIN とレギュラーグリッドがサポートされています)。詳しくは `label_meshdata` を参照してください。
- ベクタタイル
- GRASS データベース (location/mapset) から提供される GRASS ラスタデータとベクタデータ。`sec_grass` を参照して下さい。
- OGC Web サービスとして提供されているオンライン空間データ、つまり WMS、WMTS、WCS、WFS、WFS-T。 `working_with_ogc` を参照して下さい。

QGIS 認証基盤は Web サービスその他のリソースにおけるユーザーとパスワード、証明書とキーの管理の助けとなります。

- スプレッドシート (ODS / XLSX)

時系列データ

4.2 データの検索と地図の作成

親しみやすい GUI を通して、地図の作成と、空間データのインタラクティブな検索ができます。以下のよう多くの便利なツールが GUI で利用可能です。

- QGIS ブラウザ
- オンザフライ再投影
- 2D と 3D 地図レンダリング
- DB Manager
- 印刷レイアウト
- レポート
- 全体図パネル
- 空間ブックマーク
- 注記ツール
- 地物情報表示/選択
- 属性の編集/表示/検索
- データ定義の地物ラベリング
- データ定義のベクタおよびラスタシンボロジツール
- グリッドレイヤを使った地図帳の構成
- 地図に表示する北向き矢印、スケールバー、著作権表示
- プロジェクトの保存と読み込みのサポート

4.3 データの作成、編集、管理とエクスポート

ベクタレイヤやラスタレイヤを作成、編集、管理し、さまざまな形式でエクスポートできます。QGIS は以下の機能を提供しています。

- ベクタデジタイジングツール
- 複数のファイルフォーマットや GRASS ベクタレイヤを作成し編集する機能
- ベクタや画像をジオコーディングするためのジオリファレンサツール
- GPX 形式のインポートやエクスポート、その他の GPS 形式を GPX に変換したり GPS ユニット (Linux では usb: は GPS デバイスのリストに追加される) から直接ダウンロード/アップロードするための GPS ツール
- OpenStreetMap データの可視化と編集のサポート
- DB マネージャプラグインによりファイルから空間データベースを作る機能

- 空間データベーステーブルのより進んだ扱い
- ベクタ属性テーブルを管理するツール
- スクリーンショットをジオリファレンスされた画像として保存するオプション
- スタイルを出力する拡張された性能をもつ DXF 出力ツールや、CAD のような機能が備わったプラグイン

4.4 データの解析

空間データベースやその他の OGR がサポートするフォーマットに対して空間データ解析を行うことができます。QGIS は現在、ベクタ解析、ラスタ解析、サンプリング、ジオプロセッシング、ジオメトリ、データベース管理の各ツールを提供しています。また、400 以上のモジュールからなる完全な GRASS の機能を含む統合 GRASS ツールも使用することができます (`sec_grass` のセクションを参照)。また、プロセッシングプラグインを使用して作業することもできます。これは強力な地理空間解析フレームワークを提供し、ネイティブのアルゴリズムや GDAL、SAGA、GRASS、OTB、R やその他のサードパーティのアルゴリズムを QGIS から呼び出すことができます (`sec_processing_intro` のセクションを参照)。すべての解析関数はバックグラウンドで実行されるため、処理の完了を待たずに作業を続行することができます。

グラフィカルモデラーによって、直感的なグラフィカルな環境のもとで、複数の機能を組み合わせたり繋げたりして完全なワークフローを作り上げることが可能です。

4.5 インターネットでの地図の公開

QGIS は WMS、WMTS、WMS-C、WFS、OAPIF、WFS-T クライアントとして使用でき (`working_with_ogc` を参照)。QGIS Server (`QGIS-Server-manual` を参照) を使用して、WMS、WCS、WFS、OAPIF プロトコルによるデータを Web サーバーを使ってインターネットで公開することができます。

4.6 プラグインによる QGIS 機能の拡張

QGIS は、拡張可能なプラグインアーキテクチャとプラグイン作成用のライブラリによって、あなたの特別なニーズにも応えることができます。C++ や Python を使って、新たなアプリケーションを作ることさえも可能です！

4.6.1 コアプラグイン

コアプラグインに含まれているものは以下の通りです。

1. DB マネージャ (レイヤの交換・編集・表示とテーブルとデータベースの相互変換、SQL クエリの実行)
2. ジオメトリチェッカー (ジオメトリのエラーをチェックします)
3. GDAL のジオリファレンサ (GDAL を利用して、ラスタに投影情報を付加します)

4. GPS ツール（GPS データのロードとインポート）
5. GRASS（GRASS GIS の統合）
6. メタサーチカタログクライアント（Web 用の OGC カタログサービス（CSW）規格をサポートするメタデータカタログサービスの操作）
7. オフライン編集（データベースのオフライン編集と同期）
8. プロセッシング（QGIS 用の空間データプロセッシングフレームワーク）
9. トポロジチェッカー（ベクタレイヤ内のトポロジエラーを検出する）

4.6.2 外部 Python プラグイン

QGIS が公開する、コミュニティによって提供される外部 Python プラグインの数は増え続けています。これらのプラグインは公式のプラグインリポジトリにあり、Python プラグインインストーラを使用して簡単にインストールできます。managing_plugins のセクションを参照してください。

4.7 Python コンソール

スクリプト実行には統合された Python コンソールを利用することが可能です。コンソールは プラグイン *Python* コンソール メニューから開くことができます。コンソールは非モーダルユーティリティウィンドウとして開きます。QGIS 環境をインタラクティブに利用するために `QgisInterface` クラスのインスタンスである `qgis.utils.iface` という変数が利用できます。このインターフェイスでは地図キャンバス、メニュー、ツールバー及び QGIS アプリケーションのその他の部分へのアクセスを提供します。スクリプトを作成して、その後 QGIS ウィンドウにドラッグアンドドロップすると自動的に実行できます。

Python コンソールおよび QGIS のプラグインやアプリケーションのプログラミングに関する詳細については *PyQGIS-Developer-Cookbook* を参照して下さい。

4.8 既知の問題

4.8.1 ファイル数の制限

もし大きな QGIS プロジェクトを開いていて、多くのレイヤが正常だけどいくつかのレイヤがおかしい場合、おそらくこの問題に遭遇しています。Linux（そして他の OS でも同様）では、あるプロセスが開けるファイルの数に制限があります。リソースの制限はプロセスごとであり、これは小プロセスにも継承されます。シェル組み込みの `ulimit` コマンドを使うと、現在のシェルプロセスについてその制限を変更できます。新しい制限は、すべての子プロセスに継承されます。

以下のように入力すると、すべての現在の `ulimit` 情報を見ることができます：

```
$ ulimit -aS
```

コンソール上で以下のコマンドを使用すると、現在許容されているプロセスあたりの開かれたファイルの数を見ることができます:

```
$ ulimit -Sn
```

既存のセッションの制限を変更したい場合は、次のような操作で可能です:

```
$ ulimit -Sn #number_of_allowed_open_files
$ ulimit -Sn
$ qgis
```

代わりに、新しい `prlimit` ユーティリティを使用することもできます。詳細については、<https://manpages.ubuntu.com/manpages/latest/man1/prlimit.1.html> を参照してください。

問題を永続的に解決するためには

ほとんどの Linux システムでは、リソースの制限はログイン時に `pam_limits` モジュールによって設定されます。この制限は、`/etc/security/limits.conf` または `/etc/security/limits.d/*.conf` ファイル内に含まれている設定に従います。root 権限があれば (sudo も可) これらのファイルを編集することができますが、変更が有効になるには、もう一度ログインする必要があります。

更なる情報:

<https://www.cyberciti.biz/faq/linux-increase-the-maximum-number-of-open-files/> <https://linuxaria.com/article/open-files-in-linux>

第5章 ヘルプとサポート

5.1 メーリングリスト

QGIS は活発に開発中であり、常に期待のとおり動作するとは限りません。助けを得るための好ましい方法は、qgis-users のメーリングリストに参加することです。あなたの質問は、より多くの人に届き、回答は他の人の利益にもなります。

5.1.1 QGIS ユーザー

このメーリングリストは、QGIS についての一般的な議論のためだけでなく、QGIS のインストールや使用に関する具体的な質問にも使用されています。次の URL にアクセスすると、qgis-users メーリングリストを購読できます：<https://lists.osgeo.org/mailman/listinfo/qgis-user>

5.1.2 QGIS 開発者

もしあなたが開発者で、より技術的な性質の問題に直面しているならば、qgis-developer メーリングリストに参加するのが良いでしょう。このメーリングリストは、QGIS に関連する UX（ユーザー・エクスペリエンス）やユーザビリティの問題を収集し、議論する場でもあります。以下にアクセスしてください：<https://lists.osgeo.org/mailman/listinfo/qgis-developer>

5.1.3 QGIS コミュニティチーム

このメーリングリストでは、ドキュメント、状況に応じたヘルプ、ユーザーガイド、ウェブサイト、ブログ、メーリングリスト、フォーラム、および翻訳作業といった話題を扱っています。ユーザーガイドで作業したい場合にも、このメーリングリストは質問をする良い出発点です。このメーリングリストは以下で購読できます：<https://lists.osgeo.org/mailman/listinfo/qgis-community-team>

5.1.4 QGIS 翻訳者

このメーリングリストでは、翻訳作業に関する話題を扱っています。ウェブサイトやマニュアル、インターフェース (GUI) の翻訳に携わりたいと考えているならば、このメーリングリストは質問をする良い出発点です。このメーリングリストは以下で購読できます: <https://lists.osgeo.org/mailman/listinfo/qgis-tr>

5.1.5 QGIS プロジェクト運営委員会 (PSC)

このメーリングリストは、QGIS の全体的なマネジメントと方向性に関連する運営委員会 (Steering Committee) の問題を議論するために使用されています。このメーリングリストは以下で購読できます: <https://lists.osgeo.org/mailman/listinfo/qgis-psc>

5.1.6 QGIS ユーザーグループ

QGIS を各国でプロモーションし、その開発に貢献するため、一部の QGIS コミュニティは QGIS ユーザーグループに組織されています。これらのグループは、地域のトピックを議論したり、地域または国内のユーザーミーティングを開催したり、機能開発のスポンサーを組織したりする場となっています。現在のユーザーグループの一覧は、<https://qgis.org/community/groups/> で確認できます。

どのメーリングリストへの登録も大歓迎です。質問に回答したり、経験を共有したりして、メーリングリストに貢献することを忘れないでください。

5.2 Matrix / IRC

Matrix (<https://matrix.org>) は分散型チャットのプロジェクトです。QGIS には [#qgis:osgeo.org](https://matrix.org) というエイリアスでアクセスできるルームがあり、libera.chat [#qgis](https://matrix.org) IRC チャンネルに橋渡ししています。

Matrix を使うには:

1. アカウントを作成します (matrix.org が最も簡単ですが、OSGeo アカウントをお持ちの場合は、OSGeo ID を matrix ID として使用することもできます)
2. クライアントをインストールします (Elements が最も簡単ですが、詳しくは [Matrix クライアント](#) を参照してください) か、またはブラウザで <https://matrix.to/#/#qgis:osgeo.org> へ移動してください。

IRC を使うには:

1. IRC クライアントをインストールする
2. [irc://irc.libera.chat/#qgis](https://irc.libera.chat/#qgis) に接続するか、ブラウザで <https://web.libera.chat/?channels=#qgis> にアクセスします

5.3 商用サポート

QGIS の商用サポートも利用可能です。詳細情報については、<https://qgis.org/resources/support/commercial-support/> のウェブサイトを確認してください。

5.4 バグトラッカー

qgis-users メーリングリストは、一般的な「QGIS で ~ するにはどうしたらよいでしょうか？」形式の質問をするには便利ですが、QGIS のバグについて知らせたいときもあるでしょう。その時には、[QGIS bug tracker](#) を使用してバグレポートを提出できます。

あなたのバグは、必ずしもあなたが希望する優先順位を得られない可能性があることを心に留めておいてください（そのバグの重大性によります）。バグによっては、修正するために開発者が多大な労力を必要とする場合があります、いつでもそのために人手が割けるわけではありません。

機能のリクエストは、バグの場合と同じチケットシステムを使用して提出することができます。その際には、ラベルの種類に必ず `Feature request` を選択してください。

バグを発見し、自分で修正した場合には、[Github QGIS Project](#) でプルリクエストを送信してください。

詳細については、[バグ](#)、[機能](#)、[問題](#) および `submit_patch` を参照してください。

5.5 Blog

また、QGIS コミュニティは <https://planet.qgis.org/> でブログを運営しており、ユーザーや開発者にとって興味深い記事があります。他にも多数の QGIS ブログが存在しています。あなたも自分の QGIS ブログで貢献してみませんか？

5.6 プラグイン

<https://plugins.qgis.org> のウェブサイトは、公式の QGIS プラグインポータルです。ここには、「QGIS オフィシャルプラグインリポジトリ」経由で利用可能なすべての安定版および実験版 QGIS プラグインのリストがあります。

5.7 Wiki

最後に、私たちは <https://github.com/qgis/QGIS/wiki> で WIKI ウェブサイトを管理しています。WIKI には QGIS の開発に関する情報やリリース計画、ダウンロードサイトへのリンク、メッセージ交換のヒントなど、さまざまな有用な情報があります。ぜひご覧ください。

第6章 協力者

QGIS は献身的なボランティアや組織のチームによって開発されたオープンソースプロジェクトです。私たちは人種、信条、性別、その人の生き方にかかわらず人々を歓迎するコミュニティになるよう努めています。あなたはいつでも私たちのコミュニティに [参加](#) できます。

6.1 作者

QGIS 全体のドキュメントについて、書き込み、レビュー、および更新に自分の時間とエネルギーを捧げる人々を以下に記載します。

Tim Sutton	Yves Jacolin	Jacob Lanstorp	Gary E. Sherman	Richard Duivenvoorde
Tara Athan	Anita Graser	Arnaud Morvan	Gavin Macaulay	Luca Casagrande
K. Koy	Hugo Mercier	Akbar Gumbira	Marie Silvestre	Jürgen E. Fischer
Fran Raga	Eric Goddard	Martin Dobias	Diethard Jansen	Saber Razmjooei
Ko Nagase	Nyall Dawson	Matthias Kuhn	Andreas Neumann	Harrissou Sant-anna
Manel Clos	David Willis	Larissa Junek	Paul Blottière	Sebastian Dietrich
Chris Mayo	Stephan Holl	Magnus Homann	Bernhard Ströbl	Alessandro Pasotti
N. Horning	Radim Blazek	Joshua Arnott	Luca Manganelli	Marco Hugentobler
Andre Mano	Mie Winstrup	Frank Sokolic	Vincent Picavet	Jean-Roc Morreale
Andy Allan	Victor Olaya	Tyler Mitchell	René-Luc D'Hont	Marco Bernasocchi
Ilkka Rinne	Werner Macho	Chris Berkhout	Nicholas Duggan	Jonathan Willits
David Adler	Lars Luthman	Brendan Morely	Raymond Nijssen	Carson J.Q. Farmer
Jaka Kranjc	Mezene Worku	Patrick Sunter	Steven Cordwell	Stefan Blumentrath
Andy Schmid	Vincent Mora	Alexandre Neto	Hien Tran-Quang	Alexandre Busquets
João Gaspar	Tom Kralidis	Alexander Bruy	Paolo Cavallini	Milo Van der Linden
Peter Ersts	Ujaval Gandhi	Dominic Keller	Giovanni Manghi	Maximilian Krambach
Anne Ghisla	Dick Groskamp	Uros Preloznik	Stéphane Brunner	QGIS Korean Translator
Zoltan Siki	Håvard Tveite	Matteo Ghetta	Salvatore Larosa	Konstantinos Nikolaou
Tom Chadwin	Larry Shaffer	Nathan Woodrow	Martina Savarese	Godofredo Contreras
Astrid Emde	Luigi Pirelli	Thomas Gratier	Giovanni Allegri	GiordanoPezzola
Paolo Corti	Tudor Băăescu	Maning Sambale	Claudia A. Engel	Yoichi Kayama
Otto Dassau	Denis Rouzaud	Nick Bearman	embelding	ajazepk
Ramon	Andrei	zstadler	icephale	Rosa Aguilar
Patrice Pineault	Jörn Gutzeit	Felix Feckler	Benoît de Mezzo	Étienne Trimaille
Andrea Giudiceandrea	Julien Cabieces	roya0045	Sebastian Gutwein	Jessica Veenstra
Ryan Welfle	Martin Pergler	Ivan Ivanov	muranamihdk	Loïc Bartoletti
Tomasz Taraś	Ian Maddaus	Jürnjakob Dugge	Roman Bug	Damiano Lombardi

次のページに続く

表 6.1 – 前のページからの続き

Marc Ducobu	Philip Albrecht	Dennis Milechin	Cody Martin	Savinaud Mickaël
Stefan Uhrig	Ariadni-Karolina Alexiou	Björn Hinkeldey	Benjamin Riley	MorriganR
Thayer Young	Shane Carey	Ian Turton	Emma Hain	Germán Carrillo
Jakob Miksch	Nicolas Boisteault	Bertrand Rix	Jorge Rosales	

6.2 翻訳者

QGIS は多言語アプリケーションであり、現状でいくつかの言語に翻訳されたドキュメントを公開しています。他の多くの言語でも翻訳が行われていて、一定の翻訳率を超えるとそれらは公開されます。あなたが翻訳の改善を支援したい、あるいは新しい言語の翻訳を要求したい場合は、[translation_guidelines](#) を参照してください。

現在の翻訳は以下の皆様のおかげで可能となっています：

言語	協力者
インドネシア語	Emir Hartato, I Made Anombawa, Januar V. Simarmata, Muhammad Iqnaul Haq Siregar, Trias Aditya
中国語（繁体字）	Calvin Ngei, Zhang Jun, Richard Xie
中国語（簡体字）	Xu Baocai
オランダ語	Carlo van Rijswijk, Dick Groskamp, Diethard Jansen, Raymond Nijssen, Richard Duivenvoorde, Willem Hoffman
フィンランド語	Matti Mäntynen, Kari Mikkonen
フランス語	Arnaud Morvan, Augustin Roche, Didier Vanden Berghe, Dofabien, Etienne Trimaille, Francis Gasc, Harrissou Sant-anna, Jean-Roc Morreale, Jérémy Garniaux, Loïc Buscoz, Lsam, Marc-André Saia, Marie Silvestre, Mathieu Bossaert, Mathieu Lattes, Mayeul Kauffmann, Médéric Ribreux, Mehdi Semchaoui, Michael Douchin, Nicolas Boisteault, Nicolas Rochard, Pascal Obstetar, Robin Prest, Rod Bera, Stéphane Henriod, Stéphane Possamai, sylther, Sylvain Badey, Sylvain Maillard, Vincent Picavet, Xavier Tardieu, Yann Leveille-Menez, yoda89
ガリシア語	Xan Vieiro
ドイツ語	Jürgen E. Fischer, Otto Dassau, Stephan Holl, Werner Macho
ヒンディー語	Harish Kumar Solanki
イタリア語	Alessandro Fanna, Anne Ghisla, Flavio Rigolon, Giuliano Curti, Luca Casagrande, Luca Delucchi, Marco Braidà, Matteo Ghetta, Maurizio Napolitano, Michele Beneventi, Michele Ferretti, Roberto Angeletti, Paolo Cavallini, Stefano Campus
日本語	Baba Yoshihiko, Minoru Akagi, Norihiro Yamate, Takayuki Mizutani, Takayuki Nuimura, Yoichi Kayama
韓国語	OSGeo Korean Chapter
ポーランド語	Andrzej Świąder, Borys Jurgiel, Ewelina Krawczak, Jakub Bobrowski, Mateusz Łoskot, Michał Kułach, Michał Smoczyk, Milena Nowotarska, Radosław Pasiok, Robert Szczepanek, Tomasz Paul
ポルトガル語	Alexandre Neto, Duarte Carreira, Giovanni Manghi, João Gaspar, Joana Simões, Leandro Infantini, Nelson Silva, Pedro Palheiro, Pedro Pereira, Ricardo Sena
ポルトガル語（ブラジル）	Arthur Nanni, Felipe Sodré Barros, Leônidas Descovi Filho, Marcelo Soares Souza, Narcélio de Sá Pereira Filho, Sidney Schaberle Goveia
ルーマニア語	Alex Bădescu, Bogdan Pacurar, Georgiana Ioanovici, Lonut Losifescu-Enescu, Sorin Călinică, Tudor Bărăscu
ロシア語	Alexander Bruy, Artem Popov
スペイン語	Carlos Dávila, Diana Galindo, Edwin Amado, Gabriela Awad, Javier César Aldariz, Mayeul Kauffmann, Fran Raga
ウクライナ語	Alexander Bruy

6.3 翻訳に関する統計

QGIS 3.40 長期リリースの翻訳の努力の成果は以下の通りです。バージョンリリースまでに 5%に達した言語のみを掲載しています。

最終更新 2025-05-20

文字列数	翻訳先の言語数	全体の翻訳率
31238	58	15.12%

言語	翻訳率 (%)	言語	翻訳率 (%)	言語	翻訳率 (%)
アルバニア語	0.56	アラビア語	3.43	アゼルバイジャン語	0.04
バスク語	1.11	ベンガル語	0.3	ブルガリア語	2.52
ビルマ語	0.23	カタルーニ ャ語	1.16	中国語（簡体字）	25.43
中国語（繁体字）	1.39	クロアチア 語	0.23	チェコ語	5.02
デンマーク語	0.71	オランダ語	100.0	エストニア語	2.53
フィンランド語	1.29	フランス語	82.74	ガリシア語	0.53
ジョージア語	0.23	ドイツ語	55.39	ギリシャ語	0.39
ヘブライ語	0.82	ヒンディー 語	0.39	ハンガリー語	17.48
イボ語	0.11	インドネシ ア語	3.78	イタリア語	95.64
日本語	93.73	カビール語	0.23	韓国語	95.17
クルド語	0.29	リトアニア 語	24.26	マケドニア語	0.26
マレー語	0.15	マラヤーラ ム語	0.23	マラーティー語	0.2
モンゴル語	0.23	ンコ語	1.6	ノルウェー語（ブーク モール）	2.66
ペルシア語	0.72	ポーランド 語	13.02	ポルトガル語（ブラジル）	62.71
ポルトガル語（ポルト ガル）	8.16	ルーマニア 語	31.3	ロシア語	25.39
セルビア語	0.23	スロバキア 語	1.36	スロベニア語	2.48
スペイン語	98.39	スウェーデ ン語	1.15	タガログ語	1.34
タミル語	0.6	テルグ語	0.04	タイ語	0.23
トルコ語	3.34	ウクライナ 語	2.69	ウルドゥー語	0.1
ベトナム語	1.5				

第7章 Complying with Licenses

7.1 付録 A: GNU 一般公衆ライセンス (General Public License)

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA

誰もがこのライセンス文書の逐語的なコピーを複製および頒布することは許可されていますが、それを変更することはできません。

はじめに

ほとんどのソフトウェアのライセンスは、それをユーザーが共有し変更する自由を奪うように設計されています。これとは対照的に、GNU 一般公衆利用 LICENSE は、フリーソフトウェアを共有し変更する自由を保証することを意図しています - そのソフトウェアをすべてのユーザーが自由に使用できることを確かにする。この一般公衆利用許諾契約書は、フリーソフトウェア財団のソフトウェアのほとんどに、その使用を委ねたその他のすべてのプログラムに適用されます。(いくつかのフリーソフトウェア財団のソフトウェアは、代わりに GNU ライブラリー一般公衆利用許諾契約書によって覆われている。) これはあなたのプログラムにも適用できます。

私たちがフリーソフトウェアと言うときは、自由ではなく、価格のことを言っています。この一般公衆利用許諾書は、あなたがソースコードを受け取るか、またはあなたがそれをしたい場合は変更でき、それを得ることができることを、あなたは(あなたが希望する場合は、このサービスのためにと電荷)フリーソフトウェアのコピーを配布する自由を持っていることを確認するために設計されています新しいフリー・プログラムの一部をソフトウェアまたは使用します。あなたが知っていることを、あなたはこれらの事を行うことができます。

あなたの権利を保護するために、我々はあなたにこれらの権利を否定したり、権利を放棄するか聞いて誰を禁じる制限を加える必要があります。あなたはそれを変更した場合、これらの制限は、あなたがソフトウェアのコピーを配布する場合は、あなたのために一定の責任が生じることになります。

たとえば、あなたは、このようなプログラムの複製物を頒布する場合有料か無料に関わらず、受領者にあなたが持っているすべての権限を与える必要があります。あなたは、彼らもソースコードを受信または入手できることを確認する必要があります。彼らが自分たちの権利を知るよう、あなたは彼らにこれらの条項を示さなければなりません。

私たちは2つのステップであなたの権利を保護します。(1) 著作権ソフトウェア、および(2) あなたにソフトウェアをコピー、配布および/または変更する法的許可を与えるこのライセンスを提供する。

また、各作成者や私たち自身を守るために、私たちは、誰もがこのフリーソフトウェアには何の保証がないことを理解していることを確かにしたいです。ソフトウェアが他の誰かによって変更され閲覧された場合、他の誰かによって持ち込まれたいかなる問題も原作者の名声に反映されないよう、私たちはその受取人に自分たちが持っているものがオリジナルではないことを知って頂きたいです。

最後に、どのフリープログラムもソフトウェア特許に絶えず脅かされています。私たちは、プログラムの独占所有権が効力を発揮して、フリープログラムの再頒布者が個別に特許ライセンスを取得する危険を避けたいと思います。これを防ぐために、私たちはどの特許がすべての人の自由な使用のためにライセンスを取得しているか、全くライセンスを取得していないしなければならないということを明確にしました。

複製、頒布、改変に対する正確な条項と条件を次に。複製や頒布、改変のための条項および条件

0. このライセンスは、この一般公衆利用許諾契約書の条件の下で配布できることを言う、著作権者により配置された通知を含むすべてのプログラムまたはその他の著作物に適用されます。「プログラム」以下、そのようなプログラムや仕事を指し、「プログラムに基づいた作品は、」プログラムや著作権法の下で任意の派生物のいずれかを意味しますと言うことです、プログラムまたは一部を含む作品をそれ、どちらかそのままあるいは改変し、および/または他の言語に翻訳。(以下、翻訳は、用語「改変」で制限なく含まれています。)各ライセンシーは「あなた」として扱われます。

複製、頒布、改変以外の活動はこのライセンスで保護されません。彼らはその範囲外です。プログラムを実行する行為は制限されず、プログラムからの出力はそのコンテンツがプログラムに基づく著作物(プログラムを実行することによってなされたとは独立)を構成している場合にのみ含まれます。それが本当かどうかは、当該プログラムに依存します。

1. あなたは受け取ったプログラムのソースコードの逐語的なコピーをコピーして配布することができ、任意の媒体に、あなたが顕著と適切に保証の適切な著作権表示と免責条項をコピーし、それぞれに掲載し、このライセンスと保証不在を参照するすべての通知を残し、そして、プログラムと一緒にプログラムの任意の他の受信者に本ライセンスのコピーを与えます。

あなたは複製を譲渡する実際の行為に対して料金を請求でき、報酬と引き換えに保護の保証を提供してもよいです。

2. あなたはまた、これらの条件をすべて満たしていることを提供し、そのプログラムに基づいて仕事を形成し、あなたのコピーやプログラムのコピーまたはその一部を変更し、コピーして、上記第1の条件の下でそのような改変や仕事を配布することができます:

- a) あなたは、ファイルや変更の日付を変更する旨の著名な通知を運ぶために変更されたファイルを起こさなければなりません。
- b) あなたは、本ライセンスの条項の下ですべての第三者へ無償で全体として認可されるように、全体的にまたは部分的に含まれているか、プログラムまたはその任意の部分に由来していることを、あなたが配布するすべての作業が発生したり、公開する必要があります。
- c) 実行時に修正プログラムが正常に対話的にコマンドを読む場合は、印刷したり、適切な著作権表示および無保証がない旨の通知を含む告知を表示するために、最も一般的な方法で対話的に実行し始めたとき、それを引き起こす(または必要があります他に、あなたが保証を提供することを言う)と、ユーザーがこれらの条件の下でプログラムを再配布し、本ライセンスのコピーを表示する方法をユーザーに伝えるかもしれません。(例外は: プログラムそのものは対話的であっても、通常は、そのような声明を印刷しない場合は、プログラムに基づいて、あなたの仕事は、告知を印刷する必要はありません。)

これらの要件は、全体として修正作業に適用されます。著作物の一部は、プログラムに由来しない、

と合理的に独立した別の自分自身で作品は、このライセンス、およびその条件を考慮することができるならば、あなたが個別の著作物として頒布する場合、これらの部分には適用されません。あなたがプログラムを基にした著作物全体の一部として、同じ部分を配布する場合でも、全体の分布は、パーミッション他のライセンシーのために全体の全体に及ぶ本ライセンスの条件になるため、それぞれに必要がありますとにかかわらず、それを書いた人のすべての部分。

したがって、権利を主張したり、あなたによって完全に記述された動作するようにあなたの権利に異議を申し立てることはこの節の意図するところではありません。むしろ、その意図は、プログラムに基づいた派生物や集合著作物の頒布を管理する権利を行使することです。

また、記憶装置または配布媒体のボリューム上のプログラム（またはプログラムに基づく著作物）を用いてプログラムに基づいていない他の作業の単なる集合は、このライセンスの範囲の下で他の作業をもたらしません。

3. あなたはまた、次のいずれかを実行すれば、セクション 1 と 2 上記の条件の下で、オブジェクトコードまたは実行可能形式でプログラム（またはそれに基づく仕事、第 2 節の下）をコピーして配布できます：

- a) 完全な対応する機械読み取り可能なソースコードをそれに付随します、これはソフトウェアの交換で習慣的に使用される媒体に、上記のセクション 1 および 2 の条件の下で配布されなければならない。または、
- b) 物理的に下で配布されるソースの配布、対応するソースコードの完全な機械読み取り可能なコピーを、実行するあなたの費用を超えない料金で、第三者を与えるために、少なくとも 3 年間有効、書かれた第三者に対しても、ソフトウェアの交換で習慣的に使用される媒体上で上記のセクション 1 および 2 の観点。または、
- c) あなたが対応するソースコード頒布の申し出に得た情報を一緒に引き渡すこと。（この代替は、非商用配布のために許可され、あなたが上記サブセクション B と一致して、このようなオファーとオブジェクトコードまたは実行可能形式のプログラムを受信した場合のみ）

作業のソースコードは、それに変更を行うための作業の好ましい形態を意味します。実行可能な作業のために、完全なソースコードは、それに含まれるすべてのモジュールに加え、関連するすべてのインターフェイス定義ファイル、および実行可能ファイルのコンパイルとインストールを制御するために使用するスクリプトのすべてのソースコードを意味しています。しかし、特別な例外として、ソースコードは、オペレーティングシステムの主要なコンポーネント（コンパイラ、カーネルなど）と共に（ソースまたはバイナリ形式のいずれかで）正常に分布しているものを含む必要はない分散その上で実行可能な実行、そのコンポーネント自体が実行可能を伴う場合を除きます。

実行形式またはオブジェクトコードの頒布が、指定された場所からコピーするためのアクセスを提供することによって行われている場合は、第三者がコピーするように強要されていない場合でも、ソースコードの同じ場所からソースコードをコピーするために同等のアクセスを提供オブジェクトコードと一緒にソース。

4. あなたは、コピー、改変、サブライセンス、または明示本ライセンスの下で提供以外のプログラムを配布することはできません。そうでない場合は、コピー、改変、サブライセンスまたはプログラムを配布しようとする試みは無効となり、かつ自動的に本ライセンスの下であなたの権利を終了します。しかし、この契約書の下であなたから複製や権利を受け取った当事者は、そのライセンスがあれば、そのような当事者が完全に従って残るように終了していません。
5. あなたはそれに署名していないので、あなたは、このライセンスを受け入れる必要はありません。しかし、他には何もプログラムまたはその派生物を変更または頒布する許可を与えるものは存在しません

ん。あなたが本ライセンスに同意しない場合、これらの行為は法律で禁止されています。したがって、プログラム（またはプログラムに基づく著作物）を変更または配布することによって、あなたはそれに基づいてプログラムまたは作品を配布したり、変更、コピーのためにそうするように、この契約書を受諾したということ、そしてそのすべての契約条件。

6. あなたがプログラム（またはプログラムに基づく著作物）を再配布するたびに、受信者は、自動的にこれらの条件にプログラムの対象を、複製、頒布または変更するオリジナルのライセンサーからライセンスを受けました。あなたはここで認められた権利の受信者の行使について、さらに制約を加えることはできません。あなたは、第三者がこの契約書に従うことを強制する責任はありません。
7. 、裁判所の判決または特許侵害のあるいはその他の理由（特許関係に限らない）のための申し立ての結果として、条件は本ライセンスの条件と矛盾する（裁判所の命令、契約またはそれ以外で）あなたに課せられている場合は、あなたがこの契約書の条件を免除されるわけではありません。同時にあなたの本ライセンスの下での義務およびその他の関連する義務を満たすよう、そう頒布できない場合は、すべてのプログラムを配布できません。例えば、あなたから直接間接を問わずコピーを受け取った人誰もがプログラムを使用料無料で再頒布することを特許ライセンスが認めていない場合、あなたがそのライセンスと本ライセンスの両方を満たすことができる唯一の方法は、プログラムの頒布を完全にやめることです。

本節の任意の部分を任意の特定の状況下で無効または執行不能とされた場合、セクションのバランスが適用されることを意図されており、全体として部分は、他の状況に適用されることが意図されます。

あなたが任意の特許やその他の財産権の主張を侵害したり、そのような主張の有効性を争うために誘導するために、このセクションの目的ではありません。このセクションはパブリックライセンス履行により実施されるフリーソフトウェア配布システムの完全性を保護する目的を持っています。多くの人々が、このシステムの一貫した適用を信頼して、このシステムを通じて配布されたソフトウェアの広い範囲への寛大な貢献をしてきました。それは彼または彼女がどのようなシステムを通じてソフトウェアを配布すると、ライセンサーはその選択を強要することはできません喜んでいるかどうかを判断するために、著者/ドナー次第です。

このセクションでは、本ライセンスの残りの結果であると考えられるケースを徹底的に明らかにすることを目的としています。

8. プログラムの配布および/または使用が特許または著作権のあるインターフェイスにより、特定の国に制限されている場合は、その分布が許可されるように、本ライセンスの下でプログラムを元の著作権者は、これらの国を除く明示的な地理的頒布制限を加え、または除外されていない国の中だけ。このような場合には、このライセンスは、本ライセンスの本文に書かれたかのように制約を組み込みます。
9. フリーソフトウェア財団は、随時改訂および/または一般公衆利用許諾契約書の新バージョン発表することができます。このような新しいバージョンは、現在のバージョンとその精神においては似ていますが、新たな問題や懸念に対処するために細部では異なることがあります。

各バージョンは、バージョン番号によって区別を与えています。プログラムはそれと「それ以降のバージョン」に適用される本ライセンスのバージョン番号を指定した場合は、そのバージョンのか、フリーソフトウェア財団によって発行されたそれ以降のバージョンのいずれかの条件を次のオプションがあります。プログラムが本ライセンスのバージョン番号を指定しない場合、あなたは今までにフリーソフトウェア財団によって発行されたバージョンを選択することができます。

10. プログラムの一部を頒布条件が異なる他のフリープログラムに組み込みたい場合は、許可を求めるために著者にご一報ください。フリーソフトウェア財団が著作権を保有するソフトウェアについては、

フリーソフトウェア財団にご一報ください。私たちは時々、このための例外を作ります。私たちの決定は、私たちのフリーソフトウェアのすべての派生物がフリーな状態に保たれること、そして一般的にソフトウェアの共有と再利用を促進という2つの目標によって導かれます。

無保証

11. プログラムは無償で許可されるので、適用法により認められる範囲で、プログラムの何の保証も無いです。その他の方法で「そのまま」AND / OR 他の当事者はプログラムを提供著作権所有書面で明記する場合を除き、いかなる保証もない現状、あるいは暗示含むがこれらに限定されない、特定目的に対する適合性の黙示の保証。プログラムの品質および性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとしています。プログラムに欠陥があると判明した場合、あなたは必要なすべてのサービス、修理または補正の費用を負担するものと。
12. 適用法で要求されるまたは書面で同意がある場合を除きいかなる場合においても、任意の著作権者、または上記で許可されプログラムを修正および/または再頒布するその他の当事者は、任意の一般的な、特別、付随的、または含む、損害 FOR YOU TO 責任を負わないものとします EVEN、(データの損失、または不正確レンダリングされているデータ、またはあなたや第三者、または他のプログラムと一緒に動作するプログラムの障害によって被った損失を含む、ただしこれらに限定されない) プログラムを使用または使用不能から生じる損害当該保有者又はその他の当事者は、そのような損害の可能性について知らされている場合。

GPL のための QGIS Qt の例外

加えて、特例として QGIS 開発グループは有償無償に関わらず、また以下に示すものに限らず Qt ライブラリへのコードのリンクを許可します。具体的には Qt/Non-commercial Windows, Qt/Windows, Qt/X11, Qt/Mac, そして Qt/Embedded (また、Qt と同じライセンスを適用している Qt の修正版もこれに含まれます)。これら2つを含むリンクされた組み合わせの配布についても許可します。利用者は GNU General Public License に従い、Qt 以外に使われている全てのコードを尊重してください。仮にこのファイルを変更する場合、変更したファイルに対してもこの例外規定の拡張、適用を考えるかもしれませんが、その義務はありません。この例外規定の適用を望まない場合には、変更後のファイルからこの例外規定に関する文章を削除してください。

7.2 付録 B: GNU フリー文書利用許諾契約書

Version 1.3, 3 November 2008

著作権 2000、2001、2002、2007、2008 年 フリーソフトウェア財団

<https://www.fsf.org/>

誰もがこのライセンス文書の逐語的なコピーを複製および頒布することは許可されていますが、それを変更することはできません。

はじめに

このライセンスの目的は、マニュアル、教科書、または他の機能的で便利な文書を、自由という意味で「フリー」にすることです。商業的または非商業的、またはそれを修正することなく、誰もがそれをコピーして再配布するための事実上の自由を確保するために。第二に、このライセンスは、他の人によって行われ

た変更の責任とみなされていないながら、著者や出版社が自分の仕事のためにクレジットを取得する方法を保持します。

このライセンスは「コピーレフト」の一種です。すなわち、文書の派生物自体は同じ意味でフリーでなければなりません。これは、フリーソフトウェアのために設計されたコピーレフトライセンスである GNU 一般公衆利用許諾契約書を、補完します。

フリーのプログラムは、ソフトウェアが行うのと同じ自由を提供するマニュアルが付属していなければならない：フリーソフトウェアはフリーな文書が必要なので、私たちは、フリーソフトウェアのマニュアルのためにそれを使用するために、このライセンスを設計しています。しかし、このライセンスは、ソフトウェアのマニュアルに限定されるものではありません。それは関係なく、主題のか、それが印刷された本として出版されているかどうか、任意のテキストの仕事のために使用できます。私たちは、その目的の命令または参照された作品のため、主にこのライセンスをお勧めします。

1. 適用性と定義

このライセンスは、著作権者がこのライセンスの条件に基づいて頒布できることを示す通知を含む、あらゆる媒体のあらゆるマニュアルまたはその他の作品に適用されます。そのような通知は、ここに記載された条件の下でその作品を使用するための、期間無制限の、全世界のロイヤルティフリーライセンスを付与します。以下で文書は、そのようなマニュアルまたは文書を指します。一般会員はすべてライセンシーであり、「あなた」と呼ばれます。著作権法に基づく許可が必要な方法で作品をコピー、変更、または配布する場合、あなたはライセンスを受け入れます。

文書の「修正版」は、ドキュメントまたはその一部、逐語的、または変更してコピー及び/又は他の言語に翻訳のいずれかを含む任意の作業を意味します。

「補遺部分」は、名前の付録か（または関連事項）文書の全体的な対象への文書の出版社や著者の関係で独占的に扱う文書のフロントマター部であり、それは、その全体的な対象内で直接落下する可能性があります何も含まれていません。（文書が部分的に数学の教科書である場合はこのように、補遺部分は、任意の数学を説明できないことがあります。）関係は主題または関連事項との歴史的な関連の問題であるか、対象とか、あるいはそれらに関する法的、商業、哲学的、倫理的、あるいは政治的な位置の問題である可能性があります。

「変更不可部分」とは、二次著作物セクションであって、「文書」がこのライセンスに基づいてリリースされたという通知中で、そのタイトルが「変更不可部分」のタイトルとして指定されているものです。部分が上記の「二次著作物」の定義に適合しない場合、部分を「変更不可部分」として指定することはできません。文書には変更不可部分が含まれない場合があります。文書が変更不可部分を識別しない場合は何もありません。

「カバーテキスト」とは、短い文章であって、文書がこのライセンスの下でリリースされていることを述べている通知中でフロントカバーテキストまたはバックカバーテキストとしてリストされているものです。フロントカバーテキストは最大 5 語、バックカバーテキストは最大で 25 語が許されています。

文書の「透明」コピーは機械読み取り可能なコピーを意味し、その仕様一般公衆に利用可能な形式で表され、それは一般的なテキストエディタでまっすぐ文書の改訂のためか（構成画像に適していますピクセル）汎用ベイントプログラムまたは（図面のために）、いくつかの広く利用可能な描画エディタ、それはフォーマットをテキストまたはテキストフォーマットへの入力に適した様々なフォーマットへの自動翻訳のために入力するのに適しています。そのマークアップ、またはマークアップの非存在下、さもなければ透明ファイル形式で作られたコピーは、読者が後続の変更を妨害または阻止するように配置された透明ではありません。テキストの任意のかなりの量ののために使用した場合の画像フォーマットは、透明ではありません。「透明」でないコピーは不透明と呼ばれます。

透明な複製に適した形式の例としては、マークアップなしのプレーン ASCII、Texinfo の入力形式、LaTeX 入力形式、一般に入手可能な DTD を使用した SGML または XML、および標準に準拠した単純 HTML、人間の変更のために設計された PostScript または PDF があります。透明な形式の例には、PNG、XCF および JPG があります。不透明な形式には、商用ワードプロセッサで読み取り編集できる商用形式、DTD および / またはプロセッシングツールが一般に利用可能でない SGML または XML、および機械生成 HTML、いくつかのワードプロセッサによって作成された出力目的のみの PostScript や PDF があります。

「題扉」とは、印刷された書籍、題扉自体、プラスを保持するために必要とされるような以下のページのために、読みやすく、材料は、このライセンスは、題扉に表示されている必要があります。以下のような任意の題扉を持っていないフォーマットの作品については、「題扉」には、テキストの本文の先頭に先行し、作品の題の最も顕著な外観に近いテキストを意味します。

「パブリッシャー」は、公衆への文書のコピーを配布する個人または団体を意味します。

「XYZ という題」セクションには、題を正確 XYZ であるか、XYZ を別の言語に翻訳し、テキストを次の括弧内に XYZ が含まれているいずれかの文書の名前のサブユニットを意味します。(ここで、XYZ は「謝辞」、「献呈」、「裏書」または「歴史」などのような、下記の特定のセクション名を表します)。この定義によると「文書」を修正するときにセクションの題を保持することは、XYZ という題のセクションを残すことを意味します。

ドキュメントは、本ライセンスは、ドキュメントに適用されると述べている通知に次の保証の免責事項を含めることができます。これらの保証免責事項は、この契約書では、唯一の保証を放棄に関して参照により含まれると考えている。これらの保証の免責が持っていることを他の含意は無効であり、このライセンスの意味には影響を与えません。

2. 逐語的に忠実な複製

このライセンス、著作権表示、および本ライセンスが文書に適用されると述べるライセンス通知がすべてのコピーに再現されている、かつ、本ライセンスのものに一切の他の条件を追加していないという条件が満たされる限り、文書は、商業的にも非商業的にも、任意の媒体にコピーして配布できます。作成あるいは頒布するコピーの閲覧または再コピーを妨げたり制御するための技術的手段を使用することはできません。ただし、コピーと引き換えに報酬を受け取ることはできます。十分に多い数のコピーを配布する場合は、セクション 3 の条件にも従わなければなりません。

また、上記と同じ条件の下で、コピーを貸与でき、コピーを公に表示できます。

3. 大量の複製

100 以上の番号文書の印刷されたコピー（または一般的にカバーを印刷したメディアまたはコピー）を公開し、文書のライセンス通知がカバーテキストが必要な場合は、はっきりと読みやすく、コピーをこれらすべてのカバーテキスト（表紙にフロントカバーテキスト、および背面カバーにバックカバーテキスト）を持ち運ぶカバー内に同封しなければなりません。どちらのカバーもはっきりと読みやすいこれらのコピーの出版社として識別する必要があります。フロントカバーは等しく顕著な可視題のすべての単語との完全なタイトルを提示しなければなりません。加えて、表紙に他の材料を加えてもよいです。それらは、文書の題を保持し、これらの条件を満たしている限り、カバーに限定変更とコピーは、他の点では逐語的なコピーとして扱うことができます。

どちらかのカバーに必要なテキストが読みやすく収まらないほど膨大な場合、最初の実のものを実際の表紙に（適当に収まるくらい多く）記載されている入れて、残りを隣接するページに続けるべきです。

100 以上の番号文書の不透明コピーを公開または配布する場合は、各不透明コピーにまたはでから、一般的なネットワーク - コンピュータ・ネットワーク上の場所を機械可読トランスペアレント各不透明コピー

と一緒にコピー、または状態を含んでいなければならないのいずれかパブリックを使用すると、パブリック標準のネットワーク・プロトコル文書の完全な透明コピー、追加材料の自由を使用してダウンロードするためのアクセス権を持っています。後者のオプションを使用する場合は、数量に不透明コピーの配布を開始するとき、少なくとも1年の最後の時間の後に、配布されるまで、この透明コピーは定められた場所でこのようにアクセス可能なままであることを保証するために、合理的に慎重な手順を実行する必要があります公衆にその版の不透明なコピー（直接、または代理店や小売店を通じて）。

コピーの任意の多数を再配布する十分に前に、文書の更新バージョンを提供する機会を与えるために、文書の作成者に連絡することは、要求されますが、必須ではありません。

4. 変更

「文書」の「変更版」は、その「変更版」をまさにこのライセンスの下でリリースしていて、その「変更版」が「文書」の役割を満たしている、したがってそのコピーを所有している誰にでも「変更版」の配布、変更を許可している限り、上記のセクション2と3の条件の下でコピーおよび配布できます。また、「変更版」では以下のことを行う必要があります：

- A. 題扉（とカバー、もしあれば）には文書の題、および以前の版（あった場合には文書の「履歴」セクションに表示されているはずです）の題とは異なる題を使用してください。その版の元の出版社が許可を与える場合は、以前の版と同じ題扉を使用できます。
- B. 題扉のリストには、彼らはこの要件からあなたを解放しない限り、著者として、変更版における変更の著作者として責任がある1人以上の人または団体を、文書の主著者の少なくとも5（5より少ない場合その主著者のすべて）と一緒に、列挙します。
- C. 題扉に修正版の出版社の名前を、出版社として、述べます。
- D. 文書のすべての著作権表示を残します。
- E. 他の著作権表示の近くに、あなたの修正のための適切な著作権表示を追加します。
- F. 、すぐに著作権表示の後に、下記の補遺に示されている形で、本ライセンスの条項の下で変更版を使用する公開許可を与えるライセンス通知を含めます。
- G. そのライセンスに保存するには、不変のセクションの完全なリストを気づくと文書のライセンス通知に与えられたカバーテキストを必要としていました。
- H. 本ライセンスの変更されていないコピーが含まれます。
- I. 「履歴」と題するセクションを保持し、その題を保持し、それに題ページに与えられたとして、修正版の、少なくとも題、年、新しい著者、および出版社を明記のアイテムを追加します。文書に「履歴」と題した章が存在しない場合は、その題ページに与えられたとして、文書の題、年、著者、および出版社を述べるものを作成し、その後、前の文で述べたように、変更版を記述する項目を追加します。
- J. もしあれば、ネットワークの場所を保存する、パブリックアクセスの文書の透明コピーへ、およびそれが基づいていた以前のバージョンの文書に与えられ、同様に、ネットワークの場所のために文献で示さ。これらは、「履歴」セクションに配置できます。あなたは、4年前に、文書自体、少なくとも出版された仕事のためのネットワークの場所を省略でき、またはそれが参照するバージョンのオリジナルの出版社は、許可を与える場合。
- K. 「謝辞」または「献呈」と題された任意のセクションは、セクションの「題を保持」し、セクションの寄稿者の肯定応答および/またはその中に与えられた献呈の各々の全ての物質とトーンを維持します。

- L. その本文および題名を変更せず、文書のすべての不変のセクションを保持します。章番号やそれに相当するものは、セクション題の一部とはみなされません。
- M. 「裏書」と題されたいずれかのセクションを削除します。このようなセクションは、修正版には含まれないことがあります。
- N. 「裏書」または任意の不変セクションとの題で競合する権利を有することに任意の既存のセクションを改称しないでください。
- O. 任意の保証免責を保存します。

修正版は二次著作物セクションとしての資格や文書からコピーされた何の材料を含まない新しいフロントマターセクションまたは付録が含まれている場合、自身の選択によりこれらの一部または全部を不変として指定できます。これを行うには、変更版の利用許諾告知における変更不可部分のリストに自分の題を追加します。これらの題は、他のセクションの題は区別しなければなりません。

あなたは、「推薦の辞」と題されたセクションを追加します。例えば---それは、様々な関係者によってあなたの変更版の推薦しか含まれていない提供し、ピアレビューのステートメントまたはテキストは、標準の権威ある定義として組織によって承認されたことがあります。

変更版ではカバーテキストのリストの最後に、バックカバーテキストとして、最大5つのフロントカバーテキストなどの単語、および最大25ワードの通路の通過を追加できます。フロントカバーテキストとバックカバーテキストの1の唯一の通路はによって（またはによって行われた取り決めにより）いずれかのエンティティを添加してもよいです。文書が既に同じカバーするためのカバーテキストが含まれている場合は、以前にあなたによってか、の代わりに動作している同じエンティティによって行われた配置で追加された、別のものは追加できません。しかし、古い文を加えた以前の出版者からの明示的な許可に、古いものを置き換えることができます。

ドキュメントの作者と出版社（単数または複数）は、このライセンスによってのための宣伝のために自分の名前を使用するか、いずれかの修正版の裏書を主張または暗示する許可を与えることはありません。

5. 書類を組み合わせる

無修正、変更版に関して上記のセクション4で定義された条件の下で、組み合わせて、オリジナルの文書のすべての不変のセクションのすべてが含まれていることを提供し、このライセンスの下で発表された複数の文書を結合し、それらをすべてリストアップしますその利用許諾告知にご組み合わせた作品のように不変のセクション、すべての彼らの保証の免責事項を保持しています。

結合後の著作本ライセンスのコピーが含まれているのみ必要とし、複数の同一の不変のセクションは、単一のコピーで置き換えることができます。同じ名前が異なる内容の変更不可部分が複数ある場合は、括弧内に、その最後に追加することによって、そのような各セクション独特の題を作る、そのセクションの原作者や出版社の名前は、他の知られている場合、または一意の番号。結合後の著作物の利用許諾告知における変更不可部分の一覧で、章の題名に同様の調整を行います。

組み合わせでは、「履歴」と題する一つのセクションを形成し、様々なオリジナルの文書中の「履歴」という題のすべてのセクションを組み合わせなければなりません。「謝辞」という題のすべてのセクション、および「献呈」という題のすべてのセクションも同様に組み合わせます。「推薦」という題のすべてのセクションは削除する必要があります。

6. 文書のコレクション

文書および本ライセンスの下でリリースされた他の文書からなるコレクションを作成し、コレクションに含まれる単一のコピーで様々な文書中のこのライセンスの個々のコピーを置き換えることは、他のすべて

の点で文書の各逐語的にコピーについてこのライセンスの規則に従う限りにおいて、許可されます。

このようなコレクションから単一の文書を抽出して個別に配布することは、このライセンスのコピーを抽出された文書に挿入し、その文書の逐語的なコピーに関して他のすべての点で本ライセンスに従うかぎり、このライセンスの下で許可されます。

7. 独立した作品でのまとめ

編集から生じた著作権は法律上の権利を制限するために使用されていない場合は、他の別個の独立した文書や作品で、またはストレージまたは配布媒体のボリューム上の文書またはその誘導体の編纂は、「まとめ」と呼ばれています、個々の作品は許可している以上、編纂のユーザーの。「文書」がまとめに含まれている場合、それ自体が「文書」の派生物ではないまとめ中の他の作品には、このライセンスは適用されません。

セクション 3 のカバーテキスト要件文書のこれらのコピーに適用可能である場合文献は、全体集合体の半分未満である場合、次に、文書のカバーテキストは、集合内の文書を囲むカバー上に配置されてもよい、またはカバーの電子同等の文書は、電子形式である場合。そうでなければ、彼らは全体の集計を一括印刷カバーの上に表示される必要があります。

8. 翻訳

翻訳は変更の一種と考えられているので、翻訳で不変のセクションを交換部 4 の条件の下での文書の翻訳を配布することが彼らの著作権者からの特別な許可が必要ですが、に加えて、一部またはすべての不変のセクションの翻訳を含むことができこれらの不変のセクションの元版。また、本ライセンスの元の英語版およびそれらの通知および免責事項の元版が含まれていることを提供し、このライセンスの翻訳、および文書内のすべてのライセンス通知、および任意の保証免責事項を含むことができます。翻訳と本ライセンスまたは通知または免責条項の元版との間に食い違いが生じた場合は、元版が優先されます。

文書内のセクションは、「謝辞」、「献呈」と題された、または「履歴」である場合、要件（セクション 4）はその題（セクション 1）を維持するために、典型的には実際の題を変更する必要があります。

9. 終了

コピー、変更、サブライセンス、または明示本ライセンスの下で提供以外の文書を配布することはできません。そうでない場合は、コピー、変更、サブライセンス、またはそれを配布しようとするが無効となり、かつ自動的に本ライセンスの下であなたの権利を終了します。

あなたがこの契約書のすべての違反をやめる場合は、その後、特定の著作権者からライセンスは、著作権者が明示的に、最終的には永久ライセンス、および（B）を終了しない限り、とまでは（a）の仮、著作権者が失敗した場合復活さ中止後 60 日前にいくつかの合理的な手段で違反を通知します。

著作権者は、いくつかの合理的な手段で違反を通知した場合また、特定の著作権者からライセンスを永続的に復活され、これはあなたがその著作権者から（すべての作業のための）本ライセンスの違反の通知を受けたのは初めてで、そしてあなたは、予告のあなたの受領後 30 日前に違反を治します。

このセクションの下であなたの権利の終了は、このライセンスの下であなたから複製や権利を受け取った当事者のライセンスは終了しません。あなたの権利が終了し、恒久的に回復しないされている場合は、同じ材料の一部または全部のコピーの受領はあなたにそれを使用する権利を与えるものではありません。

10. 本ライセンスの将来の改訂

フリーソフトウェア財団は随時 GNU フリードキュメントライセンスを更新しています。新しいバージョンは既存のバージョンと同様の精神のもとにあります、新しい課題や関心事について詳細では異なる見解を述べることもあります。詳しくは <http://www.gnu.org/copyleft/> を参照してください。

ライセンスの各バージョンは、バージョン番号によって区別を与えています。文書は、本ライセンスの特定の番号のバージョン「またはそれ以降のバージョンが」それに適用され、あなたがその指定されたバージョンのか、と（いない出版されている任意の以降のバージョンのいずれかの条件を次のオプションを持っていることを指定した場合フリーソフトウェア財団によって草案）。文書が本ライセンスのバージョン番号が指定されていない場合は、フリーソフトウェア財団によってかつてない（ないドラフトとして）発行されたバージョンを選択することができます。文書がプロキシは、このライセンスの将来のバージョンを使用できるかを決定できるように指定した場合は、バージョンの受け入れのそのプロキシの公開声明は、恒久的に文書のために、そのバージョンを選択するように許可します。

11. 再ライセンス

「大勢の複数著者協働サイト」（または「MMC サイト」）は、著作権の作品を公開して任意のワールド・ワイド・ウェブ・サーバーを意味し、また、それらの作品を編集するために誰のための著名な施設を提供します。誰もが編集できることを公共の wiki は、サーバーの一例です。サイトに含まれる「大勢の複数著者協働」（または「MMC」という。）を MMC サイトで公開著作権保護作品の任意のセットを意味します。

「CC-BY-SA」は、クリエイティブ・コモンズ・コーポレーション（カリフォルニア州サンフランシスコに主たる営業所を持つ非営利企業）によって発行されたクリエイティブ・コモンズ表示 - 継承 3.0 ライセンス、ならびにその同じ組織によって公開されたそのライセンスの将来のコピーレフトのバージョンを意味します。

「組み込む」とは、公開または文書を、全体的または部分的に、別の文書の一部として再発行することを意味します。

MMC は、それが本ライセンスの下でライセンスされている場合、「再ライセンスの対象」であり、すべての作品は、MMC に最初にこの MMC 以外の場所に本ライセンスの下で公開され、その後、全体的にまたは部分的に組み込まれたものならば、（1）無ましましたテキスト又は不変セクションをカバーし、そして（2）このようにして前 2008 年 11 月 1 日に組み込まれました。

MMC サイトの運営者は、2009 年 8 月 1 日前の任意の時点で、同じサイト上の CC-BY-SA の下のサイトに含まれる MMC を再発行 MMC が再ライセンスの対象となり提供することがあります。

補遺：あなたの文書のために、このライセンスを使用する方法

文書内のライセンスのコピーを含め、書かれている文書で、このライセンスを使用すると、ちょうど題扉の後に、次の著作権およびライセンス通知を配置するには：

```
Copyright © YEAR YOUR NAME.
Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document
under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.3
or any later version published by the Free Software Foundation;
with no Invariant Sections, no Front-Cover Texts, and no Back-Cover Texts.
A copy of the license is included in the section entitled "GNU
Free Documentation License".
```

あなたは不変のセクションを持っている場合は、フロントカバーテキストとバックカバーテキストは、「テキスト... と。」置き換えます これに伴い：

```
with the Invariant Sections being LIST THEIR TITLES, with the
Front-Cover Texts being LIST, and with the Back-Cover Texts being LIST.
```

あなたがカバーテキストのない不変のセクション、または 3 の他のいくつかの組み合わせを持っている場合は、状況に合わせて、これらの二つの選択肢を混ぜ合わせます。

文書中にプログラムコードの自明でない例が含まれている場合は、フリーソフトウェアでの使用を可能にするために、GNU 一般公衆利用許諾契約書として、フリーソフトウェアライセンスの選択の下で並行してこれらの例をリリースすることをお勧めします。

QGIS is created and distributed under the *GNU General Public License (GPL)* and the current documentation is provided under the *GNU Free Documentation License*, Version 1.3 or any later version.